

# にんぎょうとうげ

2018年度No.2 第90号



「ヤマジノホトギス」

## 平成30年度人形峠環境技術センター安全大会を開催

今年も7月1日から7日にかけて、第91回全国安全週間及び全国鉱山保安週間を迎えました。6月を安全週間準備月間として様々な行事を計画し、6月4日、6日及び7日にかけて安全衛生委員会及び鉱山保安委員会の委員14名が22箇所の捨石たい積場の巡視を行うなど、様々な活動を通して、安全管理や危機管理に対する心構えを新たにしました。

平成30年度 全国安全週間スローガン  
「新たな視点で見つめる職場 創意と工夫で  
安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」

全国安全週間・全国鉱山保安週間の7月2日にセンター幹部等による安全祈願を実施し、恒例の安全大会を体育館にて協力会社を含め約170名の従業員等が参加する中、開催しました。

安全大会においては、理事長メッセージ、中国四国産業保安監督部長からのメッセージ(代読)、青瀬所長の訓示、協力会社を代表して日本レコードマネジメント株の石田総括作業責任者代理による決意表明がありました。

続いて、保安改善提案と保安標語について青瀬所長から表彰が行われました。また、安全クイズを全員参加で行い、最終的に15名の方が勝ち残り会場を湧かせました。

最後に、小川処理技術開発課員の音頭で全員による「ゼロ災害でいこう ヨシ！」の指差し唱和を行い、今年度の安全大会を終了しました。

安全週間が終わっても我々の安全活動に終わりはありません。過去の事故の反省として基本動作を守り、センター全員が一つになって無事故・無災害を継続するとともに、安全意識の向上を図り、より一層の安全文化の醸成に努めていきます。

(安全管理課)



青瀬所長による訓示



安全クイズの様子

## 人形峠自然百景

### 『ヤマジノホトギス』 ユリ科ホトギス属

白地に紫色の斑点のある花、この模様がホトギスの胸の模様と似ているところから名がつけられた。噴水のような形になっている筒の部分の上部に紫色の斑点のある花を1~3個開く。花びらは6個水平に開く。山野の林縁や林床に生育する多年草。茎は高さ30~60cm センター内では蓮池よりグラウンド方面に向かう道べりで夏期によく見られる。

### 発行

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料・バックエンド研究開発部門

人形峠環境技術センター 総務課

岡山県苫田郡鏡野町上雷原1550番地

電話 0868-44-2211 FAX 0868-44-2502

HPアドレス <http://www.jaea.go.jp/04/zningyo/index.html>

# 特集 Ningyo-toge TODAY

## 第二弾「環境技術開発課」

人形峠環境技術センターでは、昭和31年より、国産のエネルギー資源としてのウランを探す技術(探鉱)やウラン鉱石を採掘する技術(採鉱)の確立を目指した技術開発を実施してきました。

これらの活動は昭和62年に終了し、現在は、鉱山施設の安全な維持管理や閉山を目的とした長期的な安全を確保するための研究に取り組んでおり、環境技術開発課はその業務の中心的な役割を担っております。

以下に環境技術開発課の業務内容を紹介します。

### ① 鉱山施設の維持管理 (旧坑道、採掘場跡地、捨石たい積場、鉱さいたい積場など)

- ウラン鉱石の採掘等をしていった場所について、自然災害等による危害や鉱害が発生しないよう巡視点検等により安全な状態を保つための活動を実施しています。
- また、鉱山施設から出てくる水を鉱さいたい積場に一時的に溜めて、ウランやラジウムなどの濃度が岡山県の環境保全協定の管理基準値以下になるよう処理施設で処理しています。



捨石たい積場



鉱さいたい積場

### ② 鉱山施設の閉山措置に向けた取り組み

- 鉱山施設から鉱さいたい積場に流入する水(坑水)の水量低下や水質改善に向けた調査、研究及び対応方法の検討を進めるとともに、坑水処理技術の高効率化など新たな坑水処理システムの開発を進めています。
- 鉱山施設の閉山措置として、放射線が周囲に影響しないよう覆土等により緑地(グリーンフィールド化)として復元させるとともに、長期的に安全な状態を保つための研究に取り組んでいます。



閉山措置のイメージ図



#### ◇教えて! ? ① ◇

Q:維持管理の仕事で苦勞していることはなんですか?

A:自然が相手の仕事ですので、大雨や地震などによる自然災害が発生しないように常に細心の注意を払って巡視点検や現場保全等の業務を実施していること、時々、イノシシが整形した場所を掘り返すこともあり、その対応に苦勞しています。



#### ◇教えて! ? ② ◇

Q:グリーンフィールド化として復元させることについて、どのような状態にするのでしょうか?

A:一般的にグリーンフィールドとは「汚染のない土地」、「汚染の可能性がない未開発用地」を示す言葉とされていますが、人形峠センターの閉山措置における「グリーンフィールド化」とは「鉱さい及び捨石たい積場に、雨水がしみ込むことや地中のラドンが空气中に広がることを抑制するために、覆土整形して周辺的环境と同じ植栽・植生を施した状態のこと」を示しています。



グリーンフィールド化の参考例  
(フランス、レカルピエール鉱山の露天採掘場跡地)